

平成25年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	指導	題名	一季成り性イチゴ品種の夏秋栽培における特性と高温対策技術	
[要約] 一季成り性イチゴは短日処理を6月から7月の2か月間実施することで、8月以降の収穫が増え、特に「かおり野」は収穫の山と谷の差が小さい。硬度と酸度は「雷峰」が高く、糖度は「紅ほっぺ」と「さがほのか」が高い。また、通気性不織布をマルチとして用いることで、培地温を低く維持でき、収量も向上する。				
キーワード	イチゴ	一季成り性	夏秋栽培	技術部南部園芸研究室

1 背景とねらい

夏秋期のイチゴの栽培には長日条件でも花芽分化する四季成り性品種が業務用向けに多く用いられている。一方、短日条件で花芽分化する一季成り性品種は四季成り性品種と比べて、酸味が少なく良食味であるため生食用向きであるが、夏秋期に栽培しにくい特徴を持ち、同作型での品種特性について十分な知見が得られていない。そこで、夏秋栽培における各品種の特性を明らかにする。

あわせて、高温を嫌うイチゴにとって、夏秋期の高温対策は重要であることから、培地温を簡便に抑制する技術を明らかにする。

2 成果の内容

- (1) 4月に苗を定植し、短日処理（明期9時間）を6月から7月の2か月間実施することで、供試品種のいずれも7月以降も出蕾がみられ（表1）、8月以降の収穫が増え多収となる（図1、図2）。
- (2) 「かおり野」は「雷峰」に比べて収穫の山と谷の差が小さい（図3）。「紅ほっぺ」は10月以降の収量が少なく、「さがほのか」はコンスタントに収穫できるものの9月以降の収量が少ない（図2）。
- (3) 「紅ほっぺ」と「さがほのか」は糖度が高く、果実硬度は低めである。「雷峰」は果実硬度が高いが、糖度は低めである（表2）。
- (4) 夏秋期の高温対策として、通気性不織布（商品名：デュポンタイベック400WP）をマルチとして用いることで、白黒ダブルマルチよりも培地温を低く維持でき（図4、図5）、7月以降の収量も向上する（図6）。

3 成果活用上の留意事項

- (1) 本成果は、農研センター本部（北上市）での高設栽培による結果である。
- (2) 定植苗は前年秋に親株から採苗し、5℃以上の環境下で越冬させ、育苗期間中に出蕾した花房は除去する。なお、親株当たりのランナー数は10～12本、子苗総数は27～42株である（表3）。
- (3) 「かおり野」の栽培に当たっては、育成者である三重県から栽培許諾（有料）を得ることが必要である。

4 成果の活用方法等

(1) 適用地帯又は対象者等

沿岸地域及び県北・高冷地域を管轄する指導機関

(2) 期待する活用効果

一季成り性品種を用いて夏秋期に良食味のイチゴを生産することが可能となる

5 当該事項に係る試験研究課題

(H22-05) イチゴ夏秋どり作型における適品種の選定と多収生産技術の確立

(3000) 夏秋どり作型における一季成り性品種の適応性評価 [H22～25/県単研究、独法委託]

外部資金課題名：涼しい夏を活かす！国産夏秋イチゴ安定多収技術の開発・実証（農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業）

6 研究担当者

小田島 雅、山田 修、佐々木裕二

7 参考資料・文献

平成21年度試験研究成果「一季成り性イチゴ「さがほのか」の夏秋期生産における送風処理を併用した短日処理、芽管理の効果（研究）」

8 試験成績の概要（具体的なデータ）

表1 7月以降の出蕾日（H25年）

	短日	出蕾日
かおり野	あり	7/30
	なし	-
雷峰	あり	8/3
	なし	-
紅ほっぺ	あり	8/9
	なし	-
さがほのか	あり	8/5
	なし	-

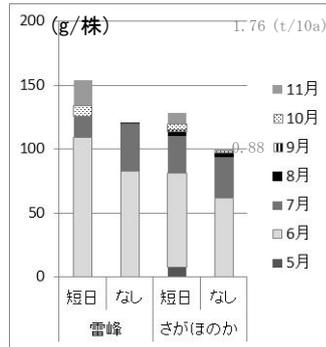


図1 商品果収量（H24年）

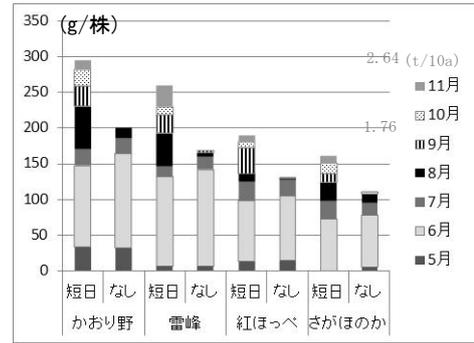


図2 商品果収量（H25年）

耕種概要

試験場所：北上市、栽培方式：高設栽培、培地：杉樹皮、株間 25cm 千鳥 2 条植え、養液 EC0.4~0.7dS/m

被覆資材：白黒ダブルマルチ（ただし、図 6 の不織布マルチ区を除く）

H24年：前年 10/17~20 挿し芽、1/26~30 鉢替え（7.5cm→10.5cm ポット）、4/12 定植

6/1~7/31 短日送風処理（17時~翌朝 8時暗黒処理）、無加温栽培【7月平均 24.6℃、8月平均 26.9℃】

H25年：前年 11/5~9 挿し芽、11/21 置肥（8-8-8、0.8g/株）、1/21~25 鉢替え（7.5cm→10.5cm ポット）、4/12 定植

6/1~7/31 短日送風処理（17時~翌朝 8時）、11/14~最低 5℃加温【7月平均 23.5℃、8月平均 25.1℃】

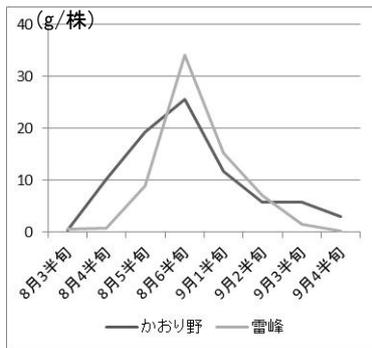


図3 半月別商品果収量（H25年）

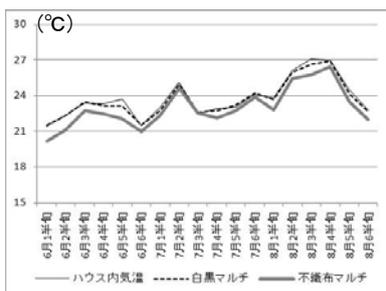


図4 半月別地温（H25年）

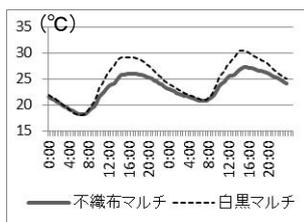


図5 1日の地温推移（H25.6.24~25）

表2 果実品質（H25年）

	5/29	6/12	8/21	11/8
糖度（Brix%）				
かおり野	7.6	8.1	9.3	10.9
雷峰	8.7	8.1	8.1	9.7
紅ほっぺ	9.7	8.8	9.4	10.6
さがほのか	8.5	9.0	11.0	10.2
硬度（kg/cm ² ：6mm 径硬度計使用）				
かおり野	0.25	0.28	0.36	0.43
雷峰	0.32	0.37	0.35	0.46
紅ほっぺ	0.25	0.27	0.30	0.43
さがほのか	0.23	0.24	0.31	0.33
酸度（g/100mL：滴定クエン酸換算）				
かおり野		0.74	0.92	
雷峰		1.37	1.45	
紅ほっぺ		0.67	0.94	
さがほのか		0.71	1.00	

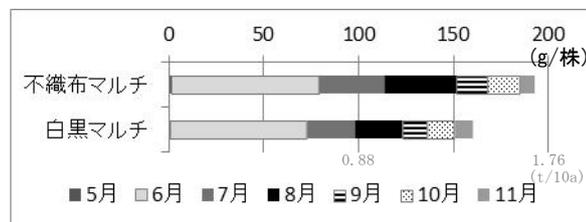


図6 マルチの違いによる商品果収量の比較（さがほのか、H25年）

表3 親株当たり子苗数（H25年 10月調査）

	ランナー数（本）	子苗総数（株）
かおり野	10.2	27.6
雷峰	10.4	31.0
さがほのか	11.8	41.4